

## 第 1・2 回宇都宮市緑の基本計画策定懇談会における主な委員意見への対応

## ■第 1 回 令和 4 年 7 月 15 日（金）13 時 30 分～15 時 00 分

## ■次第（抜粋）

## 1 報告事項

計画策定の進め方について

## 2 協議事項

(1) 宇都宮市の緑の現状について

(2) 新しい計画の策定課題と特に議論すべき論点について

○以下、主な委員意見について素案等への反映状況を整理する。（意見整理は事務局の分類による）

意見の概要	対応方針	反映箇所
<p>■中心市街地の緑化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ L R T 整備によって J R 宇都宮駅東側のトチノキ並木が伐採される。中心市街地の緑は重要な課題と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市開発時に緑が創出されるよう、開発時における緑化誘導の施策を位置付け。</li> <li>・ 中心市街地における緑化は、特に重要課題と捉え、重点プロジェクトに中心市街地の緑化を位置付け。</li> </ul>	<p>第 4 章 2 基本方針に基づく施策 D⑦</p> <p>第 4 章 ・ 1 重点プロジェクト</p>
<p>■維持管理に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園に植える樹木やハンギングバスケットの質も重視してほしい。</li> <li>・ 増やしていけば良いというだけでなく、増やしながら管理していくことで、緑の素晴らしさが際立つ。緑の魅力は、人を癒すだけでなく、経済力を生むものでもあるという視点が大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本方針 2 を、「質の高いみどりを増やし、まちの魅力につなげる」と設定し、魅せる緑の創出に向けて、目に映るみどりの充実を位置付け。</li> </ul>	<p>第 3 章 2 基本方針 第 4 章 2 基本方針に基づく施策 D②</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市公園の維持においては、地域ごとに話し合う仕組みや、話し合いを誘導する仕組みを考えることが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域ニーズをとらえた公園づくりを進めるとともに、整備後の維持管理や公園利用にあたっては、地域住民が関わることのできる公園づくりを目指す施策を位置付け。</li> </ul>	<p>第 4 章 2 基本方針に基づく施策 F②</p>
<p>■街路樹に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからはメンテナンスしやすく負担にならない樹木を考えてはどうか。街路樹や公園等の大木化、老朽化した樹木は植え替えすべき。</li> <li>・ 緑を増やすために緑化しても、枯れたハ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の意見や道路空間に配慮した街路樹の植栽及び樹木の里親制度（植栽樹の維持管理等）を施策に位置付け</li> </ul>	<p>第 4 章 2 基本方針に基づく施策 G③</p>

意見の概要	対応方針	反映箇所
ナミズキなどの花が散らばっているときれいではないため、地域住民と協力することも含め、清掃と緑化を一緒に考えていかなければならない。		
<p>■生物多様性に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地は、人が暮らす場所であることが前提にあり、安全性や維持管理の問題を解決する必要があるが、緑があれば良いということではなく、様々な生物が暮らせるような緑を街なかに取り込むことも重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生きものとその生息・生育環境の保全についての施策を位置付けた。</li> </ul>	<p>第4章 2 基本方針に基づく施策 G⑦</p>
<p>■市民協働に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑を守るためには、なぜ緑が大切なのか、市民に維持管理の大切さを分かってもらい仕掛けづくりが必要。</li> <li>植栽のある公園での清掃など、自治会活動やまちづくりの中で、自然や緑に接する機会や話題が作られる。特に若い人たちに緑に対する関心を持ってもらえるような働きかけを期待する。</li> <li>地域住民がまとまったグループを作って管理していくとしても、これからは高齢化が心配である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑が市民の生活に対して発揮しているグリーンインフラの機能の発信や、世代や地域に応じた多様なメディアを活用した緑に関する情報発信等の施策を位置付け</li> <li>地域特性に応じた新たな担い手確保のための仕組みを構築する施策を位置付け</li> </ul>	<p>第4章 2 基本方針に基づく施策 H①、⑥など</p> <p>2 基本方針に基づく施策 H②など</p>
<p>■地域別計画について</p> <p>地域区分にも様々な方法があり、宇都宮市の目指すコンパクトシティの考え方に合わせた区分や、山林、田園地帯などの大括りで区分する方法などが考えられる。計画の実効性が担保されるには、自分の地域がどうなっているかを知ってもらわなければならない。市民の人々が、イメージできる課題や取り組むべき内容を地域別計画にしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の土地の成り立ちや土地利用としてのまとめ、各地域の特色等を踏まえて、5つの地域区分とした。</li> <li>なお、上位計画である都市計画マスタープランとの整合も図っている。</li> <li>また、コンパクトシティの考え方を踏まえ、居住環境における緑化を重視し、居住誘導区域を緑化重点地区とした。</li> </ul>	<p>第5章 地域別方針</p> <p>第4章 計画推進に関する配慮事項</p>
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の緑はもちろんだが、その上流の森林、河川、流域、田んぼダムなどの緑の重要性もぜひ市民に理解しても</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑が市民の生活に対して発揮しているグリーンインフラの機能の発信や、世代や地域に応じた多様なメディア</li> </ul>	<p>第4章 2 基本方針に基づく施策</p>

意見の概要	対応方針	反映箇所
<p>らえる形を目指してほしい。</p>	<p>を活用した緑に関する情報発信等の施策を位置付け</p>	<p>H①</p>
<p>・実際に体験して植物を育てることが面白いと気付いた。参加したら楽しいと感じる取組が良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の参画を得ていく上で「楽しむ」ことを、広く共有することが重要と考え、基本方針3を、「みどりを楽しみ、愛着を育む」と設定</li> <li>・市民活動団体等と連携した自然環境支援や緑に関するイベントを実施する施策等を位置付け</li> </ul>	<p>第3章 2 基本方針 第4章 2 基本方針に基づく施策 H②, ④など</p>

■第2回 令和4年8月24日（水）14時30分～16時30分

■次第（抜粋）

1 報告事項

前回懇談会の主な意見について

2 協議事項

(1)（仮称）第3次宇都宮市緑の基本計画骨子案「I計画改定にあたって」について

(2) 緑の将来像，リーディングプロジェクト案について

○以下，主な委員意見について素案等への反映状況を整理する。（意見整理は事務局の分類による）

意見の概要	対応方針	反映箇所
<b>■中心市街地における緑の増加について</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針に、「緑をつくる」や「緑を創出する」という視点が入っていない。緑を増やすことを今回の計画に入れるべきだと思う。</li> <li>第3次緑の基本計画においても明確に「増やす」を入れるべきだと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針2を、「質の高いみどりを増やし、まちの魅力につなげる」に修正</li> <li>課題整理にあたり、「緑の量を増やせない代わりに質を高める」という意味合いでは無い点を強調する意図だったが、誤解を招くため、委員指摘の通り「緑の量を減少させずに」は削除。</li> </ul>	<p>第3章 2 基本方針</p> <p>第1章 7 計画改定の課題</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題整理にあたり、「緑の量を減少させずに」という表現は誤解を与えてしまうおそれがあるため，表現を整理した方が良いと思う。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針2についての想定する関連施策として，公園整備や施設緑化が挙げられており，緑を創出する行為であることは分かるが，それが「みどりをまちの魅力につなげる」施策であるということがよく分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨子案時点でイメージのみだった施策について，基本方針2に紐づく施策を体系化。緑を創出することで，賑わい、強靱性、快適性、環境共生につながる考えの下体系化し、具体的な施策を位置付けた</li> </ul>	<p>第4章 施策体系</p>
<b>■緑の重要性の発信について</b>		
<p><b>■みどりの役割について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民にとって分かりやすい計画でないと，市民が理解して，協力してもらうのは難しいと思う。施策の前段に，私たちにとってこういう理由で緑が重要だということを入れた方が良い。なぜ緑が必要なのかを誰もが共通認識として持つことが重要だと思う。</li> <li>市民目線から述べると，第2次緑の基本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画書の冒頭（具体的な内容に入る前）に、みどりの役割を伝える項目を設けた。</li> </ul>	<p>緑の役割</p>

意見の概要	対応方針	反映箇所
<p>計画はほとんど浸透していないと思う。計画自体を市民に発信することも重要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ緑が必要なのかを市民に伝えること、緑の意義、緑の魅力を伝えることも、計画の最初の方であった方がいいのではないかというご意見もいただいた。</li> </ul>		
<b>■緑の重要性の発信について</b>		
<p><b>■これまでの取組について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今ある良い取組を評価して、それをさらにこう発展させたいというような示し方をしないと、今まで取組を進めてきた人が「分かってくれているのか」とがっかりしてしまい、仲間として力を貸してくれない。今まで取り組んできた人が、「ちゃんと市は分かってくれている」と思うような上手な示し方をすると、市民もやる気が出るだろうと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現況整理において、これまでの市民活動について記載するとともに、計画課題③においても、市民活動の引き継ぎの支援と、活動拡充・水平展開の検討を記載。</li> </ul>	<p>第1章 3 緑被の状況 7 計画改定の課題</p>
<b>■リーディングプロジェクトについて（現：重点プロジェクト）</b>		
<p><b>■全般について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーディングプロジェクトは、最終的なゴールを具体的に示すことが重要だと思う。やりたいことはたくさんあっても、結果に結び付かなければもったいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点プロジェクトでは、目指す姿の実現に向けて短期的な成果を出していくための10年間の大きなスケジュール感を示した。</li> </ul>	<p>第4章 1 重点プロジェクト</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針の3つと、リーディングプロジェクトの3つの関係性がよく分からなかった。</li> <li>基本方針とリーディングプロジェクトについては、事務局からもう少し具体的な説明が欲しい。リーディングプロジェクトとは、時系列的に先に取り組むものという理解でよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会資料で不足していた重点プロジェクトの説明に追加。重点プロジェクトの目的と、3つのプロジェクトを設定した背景を記載。</li> </ul>	<p>第4章 1 重点プロジェクト</p>
<b>■具体的な取組みについて</b>		
<p><b>■中心市街地の緑化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の緑化については、積極的に取り組んでいただきたい。中心市街地の公園の質を高めることについては、早急な対応が必要だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点プロジェクトに中心市街地の緑化を位置付け、重点的に取り組んでいく。公園についても、市民ニーズに対応した魅力を高める、公園整備</li> </ul>	<p>第4章 1 重点プロジェクト</p>

意見の概要	対応方針	反映箇所
	を位置付け。	
<p>■再開発等に係る緑化義務について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市もしくは栃木県では、再開発や開発許可等において、具体的な数値としての緑化義務はあるのか。</li> <li>・中心市街地の再開発はこれからも行われるので、宇都宮市としての緑化推進を検討いただければと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間開発時に緑化を誘導していく取組みを施策に位置付け</li> <li>・その上で、開発時の緑化の義務付けやインセンティブ付与等について検討する施策を、重点プロジェクトとしても位置付けた</li> </ul>	<p>第4章 2 基本方針に基づく施策 D⑦</p> <p>第4章 1 重点プロジェクト I</p>
<p>■防災・減災に資する緑の創出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観的に見栄えの良い緑を増やすことも必要だが、市の中心部で洪水が起こることもあるため、上流部での洪水対策をしっかりと行った方が良い。生物多様性、景観、防災等も兼ねた緑をつくることが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼダムの取組、雨水貯留浸透機能確保のための山林の保全等の施策を位置付け。</li> </ul>	<p>第4章 2 基本方針に基づく施策 E①</p>
<p>■樹林地の保全について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹林地の保全をどのように誘導していけば良いのか。民有林は難しいかもしれないが、何かしらの誘導をして、近隣住民達の憩いの場となれるような樹林に変えていければ非常に良いと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民緑地等の既存法制度の活用、グリーントラスト等民間活動との連携の他、企業との連携等の施策を位置付け。</li> </ul>	<p>第4章 2 基本方針に基づく施策 D⑧、I③など</p>
<p>■「都市部」、「都心部」、「中心市街地」等の表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市部」、「都心部」、「中心市街地」など、表現は今後検討いただければと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現を以下のように整理。</li> <li>・市街地：市街化区域内の都市的土地利用（市街化区域内の農地等は対象外）</li> <li>・中心市街地：中心市街地（都心部グラントデザインの対象区域（320ha））の範囲</li> <li>・都心部：使用しない（都心部まちづくりビジョンの文脈で使用する場合のみ使用）</li> <li>・都市部：市民意識調査に関わる文脈で使用する場合のみ使用</li> </ul>	

以上